

2024 高校サッカー選手権大会釧路地区予選

【競技上の注意事項】

1 ベンチ（選手席）について

- (1) チームベンチは、本部を背に競技日程表の番号が若い方のチームが左側とする。
- (2) ベンチに入ることができるのは、大会要項に定めら人数で、かつ事前に氏名を届けられた役員・交代要員のみに限る。（交代要員9以内、マネージャーを含む役員5名以内=合計14名以内）
- (3) 交代選手および退いた選手はビブス等を着用し、試合中の選手と明確に区別できる服装をすること。
- (4) テクニカルエリアの使用については、その都度ただ1人の役員のみが戦術的指示を伝えることができる。交代要員もウォーミングアップを除いて所定の位置で観戦すること。
- (5) 試合開始から終了の間、役員によるあらゆる形式の電子通信機器の使用は、競技者の安全や安心・快適さに直結するのであれば、また戦術的もしくはコーチングの目的であれば用いることが認められる。なお、電子通信機器に付帯しているものによるものも含めてテクニカルエリア内（ベンチを含む）においては、いかなる撮影（写真、ビデオ）も認められない。
- (6) ベンチから選手に対して反スポーツ的なプレーを助長するような言動や、審判の判定に対して不服、または誹謗するような言動は現に慎むようにする。

2 競技者の交代について

- (1) 交代は登録された9名の中から5名まで認められ、後半の交代回数を3回までとする。
- (2) ハーフタイム、延長戦開始前及び延長戦のハーフタイムでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。
- (3) 交代要員は、退く競技者がフィールドの外に出た後、主審の許可を得てハーフウェイラインの所よりフィールドに入る。（退く競技者は、近くの境界線からフィールドの外に出るが、その際シャツを脱ぎ上半身裸になる必要はない）

3 延長戦・PK戦（ペナルティーシュートアウト）について

- (1) 競技時間内で勝敗が決しない場合、20分間（10分ハーフ）の延長戦を行う。延長戦が始まるまでのインターバルは3分間とする。延長戦のハーフタイムのインターバルは1分とし、水分補給を認める。
- (2) PK戦が行われる場合、競技者は監督の指示を受けるため、1分程度、自分のベンチ前に行くことができるが、フィールドから離れてはならない。
- (3) PK戦を行う場合は、キックを行う前、または進行中に、一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者の多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らし、除外するそれぞれの競技者の氏名と番号を主審に通知しなければならない。除外された競技者は、キックに参加することができない。

4 試合中負傷した競技者の処置について

- (1) プレーの停止
 - ① 主審は、競技者が負傷を負っていると判断した場合は、プレーを停止する。
- (2) 担架およびチーム役員等のフィールドの入場
 - ① 主審は、治療が必要かどうか負傷した競技者に質問する。
 - ② 負傷した競技者が治療を必要と答えた場合や、主審の質問に答えられなかった場合、主審は2名以内のチーム役員の入場を認める。
 - ③ 主審は、チーム役員等の意見を参考にし、必要があれば担架を要請する。
 - ④ 担架は、主審の合図を受けてからフィールド内に入る。
 - ⑤ 緊急な対応が必要と判断した場合、主審はチーム役員と一緒に担架を入場させることがある。
 - ⑥ 例外を除き、フィールド内での治療は認められない。
- (3) 例外について
 - ① ゴールキーパーが負傷したとき
 - ② ゴールキーパーとフィールドプレーヤーが衝突し、対応が必要なとき
 - ③ 重篤な負傷が発生したとき
 - ④ 相手競技者が警告される、または、退場が命じられるような体を用いた反則の結果として競技者が負傷

したが、負傷の程度の判断と治療が素早く完了できるとき

- (4) 負傷によりフィールドの外に出た競技者は、競技が再開された後に、主審の許可を得てフィールド内に復帰できる。
- (5) 主審の許可を得て復帰する場合、ボールがインプレー中はタッチラインからのみフィールドに復帰できるが、ボールがアウトオブプレー中であれば、いずれの境界線からであっても復帰できる。

5 競技中の飲水について

- (1) 競技者の試合中の飲水は、ボールがアウトオブプレー中にタッチライン上とゴールライン上においてのみ認められる。飲水するものは「水」に限る。飲物は境界線から1m以上離れた所に置く。また、クーラーボックス等は2m以上離れた所に置く。
- (2) ベンチ内においても飲水するものは「水」に限る。競技者が入場する際、ボトルの持ち込みは認めない。
- (3) 試合前やハーフタイム中にスポーツドリンクやゼリー等を摂る場合は、競技場の外で摂ること。
- (4) クーリングブレイク、飲水タイムの実施は、「熱中症対策ガイドライン」に基づき、専門委員が判断する。

6 警告・退場について

- (1) 今大会において退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会で決定する。なお当該試合終了後に対象となる選手およびチーム代表者に事情聴取を行う。
- (2) 今大会において警告を2回受けた競技者は、次の1試合の出場資格を失う。
- (3) 決勝戦で退場を命じられた競技者がいるチームが北海道大会に出場する場合、その1回戦で出場停止を消化する。北海道大会に進まなかった場合、直近の道協会主催の高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ北海道ブロックリーグ道東、またはユース新人大会釧路・根室地区予選にて消化する。

7 その他

- (1) 選手登録されていない生徒が集団で応援する場合、ベンチ正面で行うものとする。また、相手チームも含め競技者と同色のユニフォーム・ジャージで応援することを禁止する。
- (2) アンダーシャツやタイツを着用する場合、次の場合のみ許可する（チームで統一していること）
 - ① アンダーシャツは、シャツの各袖の主たる色と同じ色で、1色とする。または、シャツの各袖と全く同じ色の柄にする。
 - ② アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色と同じ色、または、ショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。また、チームの競技者は、同色のものを着用しなければならない。
- (3) ソックス
 - ① ソックスは膝下までしっかり上げて着用すること
 - ② ソックスにテープまたはその他のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、着用するもしくは覆う部分のソックスの色と同じものでなければならない（透明テープ可）。なお、バンテージ、アンクルサポーターなどはソックスの内側に着けること。
 - ③ ソックスを切って、その下に機能性ソックス等を着用する場合、同色のものを履くこと。同色のものがない場合、ユニフォームソックスをくるぶしまで下げて、同色のテープ等によりくるぶし付近で固定すること。
- (4) すべての装身具（ネックレス、指輪など）は禁止されており、外さなければならない。装身具をテープで覆うことは、認められない。
- (5) スポーツマンシップに反する行為は厳に慎み、高校サッカーの品位を高めるよう努力すること。
 - ① 競技規則を正確に理解し、守る。
 - ② 競技規則の精神「安全」「公平」「喜び」
 - ③ レフェリーの判定に従う。
 - ④ 相手に敬意を払う。
- (6) 競技者が得点したときに喜びを表すことが認められるが、その表現は過度になってはならない。
- (7) 雷等、悪天候等によって試合が中断または開始を遅らせる必要がある場合について、天候の回復を待って試合を再開または開始することを原則とする。ただし、日没等により、再開が困難な場合については、その後の処置を大会本部が決定するものとする。
- (8) 緊急地震速報やJアラートなどが発令された場合は、上記の雷等と同様な対応を行うこととする。

2024 高校サッカー選手権大会釧路地区予選

【運営上の注意事項】

- 1 代表者ミーティング（マッチコーディネーションミーティング）
 - (1) 各競技日の第一試合は、試合開始80分前、2試合目以降は、前の試合のハーフタイム時に本部席で代表者ミーティングを行う。
 - (2) メンバー表・選手証を提出し、確認を受ける。記入にあたり、主将の背番号を○で囲むこと。また、ベンチ内に入る監督1名およびチーム役員4名の役職および氏名（フルネーム）を記入すること。
 - (3) メンバー表提出後、試合開始までの時間に、怪我など特別な理由により登録されたメンバーが、当該試合へ出場することが不可能であると、当該試合責任者（荒）が判断した場合のみ、エントリー内容を変更することができるが、メンバーから外れた選手はベンチに入ることができない。ただし、GKについては例外とする。
- 2 ユニフォームの決定について
 - (1) 両チーム監督は、試合開始80分前（2試合目以降は、前の試合のハーフタイム時）の代表者ミーティングに正副2着のユニフォーム一式（GK含む）を持参する。主審立ち会いのもと、ユニフォームを決定する。
 - (2) ユニフォームの類似により変更する必要があると主審が判断した場合、主審がその試合において着用するユニフォームを決定する。
 - (3) 主審は、ユニフォームのうち当日着用するシャツ・ショーツ・ストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
 - (4) フェイスガードなどの装身具を着用する場合、試合前の代表者ミーティングの際に現物を主審が確認して安全性に問題が認められない場合、着用できるものとする。
- 3 選手確認について
 - (1) 選手の確認は、代表者ミーティングにおいて、本部が選手証および大会プログラム、登録選手変更届により行う。
- 4 試合前、および試合中の練習について
 - (1) 試合前および試合中の練習を行う場所は、代表者ミーティング時に指示を受けること。
 - (2) 試合前のフィールド内練習は、時間に余裕がある場合に認める。時間等については、運営役員の指示に従うこととし、メンバー表に記載された選手・役員のみが参加できる。
 - (3) 試合開始前の挨拶後、時間に余裕のある場合はフィールド内にいる選手でのボール回しを認める。ハーフタイムでのフィールド内練習を認める。
 - (4) 交代要員のウォーミングアップは、ベンチ横でフィールド上の競技者と異なる服装でボールを使用せず（GK除く）に行うこと。
- 5 試合開始前・後半の開始・試合終了後について
 - (1) キックオフの6分前迄に、競技者は本部前に集合して審判員より用具の点検を受ける。
 - (2) 選手の入場は、本部前からタッチラインに沿って横1列に並び、まっすぐに入場し、挨拶・握手をする。
 - (3) 後半は、前半終了の合図から10分後に開始の合図をする。（ハーフタイムのインターバルの目安は8分程度）
 - (4) 試合後（クロージングセレモニー）について、リスペクトの精神に基づき身だしなみを整え整列、相手チームへの挨拶・握手を行うこと。

全国高体連サッカー専門部からの通達

- 1 ユニフォームのシャツの裾の出し入れについては、各チームの判断に任せられる。
- 2 上記1について審判員がシャツを入れるよう指示をすることはないので、チームならびに競技者の責任において遵守すること。
- 3 製造メーカーのロゴを除き、着用する衣類・ビブスなどに一切の広告を認めない。